

[江別市] 施策達成度報告書

政策 07 計画実現に向けて

施策 03 開かれた行政づくり

主管課：広報広聴課

施策の目的

行政の透明性と公平性を高めるため、情報公開と情報提供を推進し、市民や事業者からの信頼を得る行政を目指します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、行政	・情報公開を拡充し行政の透明性を高め、市民や事業者からの信頼を得る。
-------	------------------------------------

施策の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
行政情報の共有化を感じる市民割合	%	73.3	76.2	-	76.8	77.2	78.3	↗
行政の透明性を感じる市民割合	%	72.5	74.1	-	75.0	80.0	79.5	↗

施策の達成状況(25年度)

成果指標を達成するため、過去5年間に情報発信力の強化、特集記事の充実、より読みやすい広報誌の工夫などに取り組んだ結果、毎年の市民アンケートからは、数値が上昇傾向にある。最終年の平成25年度の市民アンケートでは、「行政情報の共有化」が前年から1.1ポイント上昇し78.3%、「行政の透明性」がほぼ横ばいの79.5%という結果になった。これをふまえ、第6次総合計画の協働のまちづくりの推進に向け、市民の関心がさらに高まるように、市の取り組みをわかりやすい表現で説明することで、市民理解が深まるように取り組みたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	62,992	64,264	64,289	65,130	70,917
事業費(千円)	14,448	17,113	17,336	18,637	25,602
人件費(千円)	48,544	47,151	46,953	46,493	45,315

基本事業

01 広聴の充実

基本事業の目的

広聴体制や広聴制度を整備し、市民や事業者の意見を的確に把握するとともに、市政への反映を図ります。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、行政

・広聴体制や広聴制度を整備し、市民や事業者の意見や意思を的確に把握する。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期 目標値
広聴機会について満足している市民割合	%	64.7	65.5	-	68.7	66.2	70.0	↗
市民の声が市政に反映されていると思う市民割合	%	56.9	63.5	-	66.4	63.0	63.8	↗
「市民の声」の件数(参考)	件	-	-	380	348	351	342	
「パブリックコメント」の提出意見数(参考)	件	-	-	34	135	53	219	

基本事業の達成状況(25年度)

広聴機会や市民の声の反映に関しては、初期値に比べそれぞれ5.3ポイント、6.9ポイントの上昇となり、成果が上がっているものと判断される。市民の声の件数は、平成25年度は342件でほぼ横ばいで推移しており、市政に対する一定の理解があるものと思われる。今後は、さらなる広聴機会の拡充に向けた手法を精査し、市民ニーズの把握に努めていきたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	6,638	6,448	6,421	4,810	4,688
事業費(千円)	0	0	0	0	0
人件費(千円)	6,638	6,448	6,421	4,810	4,688

基本事業の目的

効果的な広報活動を行い、市民や事業者との情報の共有を図るとともに、全ての職員が日常業務においても広報活動を心がけます。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、行政、職員

- ・効果的な広報活動を行い、市民や事業者との情報の共有を図る。
- ・すべての職員が日常業務において広報役を担うよう育成を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
市政に関する情報・広報の市民満足度	%	81.9	86.9	-	84.9	88.3	86.6	↗
市民への行政広報をしていると思う職員の割合	%	68.2	60.3	-	66.4	69.2	68.3	↗

基本事業の達成状況(25年度)

「市政に関する情報・広報の市民満足度」は、継続して高い評価を得ている。引き続き広報誌の表紙・裏表紙のカラー化に伴う写真素材の吟味、積極的な特集記事やレイアウトの工夫による見やすい、読みやすい紙面づくりを心掛ける。また、ホームページにおいては、担当課から迅速に情報がアップできるCMS(コンテンツマネジメントシステム)の導入により、担当課からの情報発信が整理され、見やすいホームページとなったことから、満足度の向上が期待できる。

「行政広報に対する職員意識」については、新総合計画の推進に伴い情報発信の頻度が増えることから、職員の広報に関する意識がさらに向上するように努めたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	24,285	25,975	26,902	26,918	49,635
事業費(千円)	10,593	12,676	11,652	12,890	19,945
人件費(千円)	13,692	13,299	15,250	14,028	29,690

基本事業の目的

個人情報の保護を図るとともに、情報公開と情報提供を推進します。

対象(誰を対象とした指標か)

意図(対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

市民、行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや庁内LANによる行政データベースの活用などにより情報を公開する。 ・情報公開、個人情報の保護に対応する体制の整備および仕組みを充実させる。
-------	--

基本事業の目的をあらわす指標の動き(成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	後期目標値
情報公開制度を知っている市民割合	%	37.9	40.0	-	34.4	38.7	34.2	↗
情報公開制度手続を知っている市民のうち情報公開制度に満足している市民割合	%	85.2	89.0	-	86.5	94.0	92.8	↗

基本事業の達成状況(25年度)

情報公開制度が出来てから、10年以上を経過し、既に制度が定着しているとの認識から、制度に関する周知が不足し、「制度を知っている市民割合」の低下原因になったと考えられる。その一方で、情報公開の実績件数は、平成21年度27件、平成22年度23件、平成23年度19件、平成24年度24件、平成25年度32件と増加していること、「制度を知っている市民の満足度」は高いことなどから、体制の整備及び仕組みについては充実していると考えられる。今後は、一層の制度周知を図るとともに、市政に関する情報を公正かつ適正に公開することで、制度に対する満足度を高めていきたい。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度決算額	24年度決算額	25年度決算額
トータルコスト(千円)	15,437	15,563	15,054	19,028	6,382
事業費(千円)	86	652	206	190	132
人件費(千円)	15,351	14,911	14,848	18,838	6,250